

## はじめに

2004年もベトナムを含む東南アジア諸国が、力強く発展する中国経済と共存共栄を図り、経済のグローバル化の中で経済発展を遂行した年でした。

ドイモイ政策を開始以来18年が経過し、対外開放、全方位外交路線のもとにベトナムは自然災害、近隣諸国の購買力低下、不況など多くの困難、試練を乗り越え、政治的経済的安定と国民生活の向上を図ってきました。

日越関係では2003年11月14日に「投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とベトナム社会主義共和国との間の協定」の署名が東京で行われました。

ベトナム政府は、貿易と投資の環境整備のために、ベトナムに進出している外資系企業との会合を引き続き定期的に行い、逐次改善を進めています。

### 2004年度の日越間取引額

輸出	343,830,698 千円	前年度比 13.35%増
輸入	417,067,631 千円	前年度比 16.48%減
合計	760,898,329 千円	前年度比 15.04%増

2004年の取引は、輸出入総額が前年度に比べて15.04%増となりました。特に輸出入共に2003年に引き続き13%以上の伸びとなった事が注目されます。原油の国際価格の上昇と水産物、衣料関係の輸入が堅調でしたが雑貨、民芸品等は国際競争にさらされ、伸び悩みました。日本側の輸出は、ODA 関連資機材、ベトナム進出企業の操業度の向上で、集積回路、組み立て部品、発電所機材、鋼材、家電の組み立て部品などが増えました。

ベトナム統計年鑑は1999年版から刊行し6年目となりました。関係各位の皆様に感謝いたします。

2006年6月  
日越貿易会  
専務理事 宮内 寛